

○水生生物モニタリング調査結果一覧（富岡川○）

<富岡川0 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
○-1	○	○	○	○	○	○
○-2	○	○	○	—	○	—

<富岡川0 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
○-1	37.3547°	140.9780°	R4. 12. 5	13:51	13:56	8.9	8.3	砂泥	7.5Y4/2	植物片	0.50	>100		
○-2	37.3624°	140.9612°		15:11	15:21	8.2	8.5	砂礫	7.5Y6/3	植物片	0.30	>100		

<富岡川0 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
○-1	37.3547°	140.9780°	R4. 12. 5	13:51	7.4	1.2	2.1	11.3	8.5	0.05	0.8	<1	1.0	N. D. (0.0012)	0.010	0.0010
○-2	37.3624°	140.9612°		15:11	7.6	0.7	1.7	11.2	8.0	0.04	0.7	<1	0.8	N. D. (0.0014)	0.012	—

注) N. D. は、not detected (検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<富岡川0 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
○-1	37.3547°	140.9780°	R4. 12. 5	13:56	7.2	468	29.2	5.6	19.0	2.610	4.9	6.4	19.7	39.6	20.3	9.1	0.13	4.8	18	780	0.47
○-2	37.3624°	140.9612°		15:21	7.6	503	19.5	1.5	2.0	2.670	21.7	30.1	38.5	4.5	2.2	3.0	0.89	19	3.5	170	—

注) N. D. は、not detected (検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<富岡川0 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
0-1	富岡川本流	37.3547°	140.9780°	R4. 12. 5	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.023	—	—	—	79	N. D. (7.4)	79	—	
					節足動物	昆虫	カケラ	カケラ	<i>Kamimuria uenoi</i>	ウエノカワゲラ	74	0.0051	幼虫	—	—	—	N. D.	N. D. (6.4)	N. D. (5.6)	—
					節足動物	昆虫	カケラ	カケラ	<i>Oyamia lugubris</i>	オオヤマカワゲラ										
					節足動物	昆虫	カケラ	カケラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ										
					節足動物	昆虫	カケラ	カケラ	<i>Neoperla</i> sp.	フタツメカワゲラ属										
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	48	0.0073	幼虫	—	—	48	N. D. (12)	48	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	7	0.095	未成魚/成魚	—	—	17	N. D. (2.7)	17	—	
粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.21	—	—	—	23	N. D. (1.3)	23	—						
0-2	富岡川本流	37.3624°	140.9612°	R4. 12. 5	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.015	—	—	—	81	N. D. (9.6)	81	—	
					節足動物	昆虫	カケラ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ	283	0.015	幼虫	—	—	31	N. D. (5.9)	31	—	
					節足動物	昆虫	カケラ	カケラ	<i>Kamimuria uenoi</i>	ウエノカワゲラ	205	0.016	幼虫	—	—	N. D.	N. D. (2.3)	N. D. (2.1)	—	
					節足動物	昆虫	カケラ	カケラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ										
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	12	0.19	未成魚/成魚	—	—	21	N. D. (2.3)	21	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ	1	0.014	成魚	—	—	12	N. D. (2.9)	12	—	
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.23	—	—	—	63	N. D. (1.7)	63	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。